

報道の視点の比較

～面から（朝日新聞）～

E-2-1-3-3

九州北部

豪雨

【 対象 】 司書教諭、一般教員、学校司書、児童・生徒
一般 その他

【 時間 】 60分

【 会場 】 教室 図書館 など

【参加者の持ち物】
筆記用具 など

【準備】 付箋かシール（5色程度） など
キット 九州北部豪雨 8-2-1-3

【 講師 】 不要

【 活動の流れ 】

- ① 2017年の7月6日から2018年1月9日までの朝日新聞の記事を、それぞれ何面に載っているのかを、調べ、分類する。
- ② 面ごとに分類した記事の見出しを見て、記事の内容をつかみ、災害の状況・被害の状況・被災者の様子・支援の様子・災害への対策などに分ける。
- ③ 総合・社会・生活・地方などに分けた記事から、その面の特徴を発見する。ノートやワークシートに発見したことを書く。
総合にはどんな記事が多いのか など
- ④ 班の中で意見を出し合い、全員の前で班ごとに発表する。
- ⑤ ③④を参考に、防災対策を調べたいときは、どの面に情報があるかを考える。

【 その他 】 ②で付箋等を貼ることで、面によって記事に特徴があることが視覚で理解できます。また、日付にも注目させていくと、災害の報道の変化がよりはっきりします。